

単元構想

単元名【 こえにだしてよもう 】

教材名【 くじらぐも (なかがわ りえこ) 】(全8時間)

1年

⑤【単元目標】 場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。

⑥【単元の言語活動】 役に分かれて、音読発表会をする。

(相手：2年生 目的：様子が表れるように読む 方法：音読発表会をする 場面：2年生との交流会で 評価：読みをいかして音読で伝えることができたか)

④【教材の特徴】

・本文には、登場人物との楽しい対話や繰り返しの表現が効果的に用いられており、わくわくした思いをどんどんふくらませながら読むことができる。

③【既習事項】

「おおきなかぶ」では、役に分かれて、2年生への音読発表会を経験した。動作化しながら、リズムよく声を合わせて音読することができた。

②【児童の実態】

○物語文に興味をもって読んだり聞いたりして楽しむことができる。
△思い浮かべた様子を相手に伝えようと音読することが苦手な児童がやや多い。

①【重点とする指導事項】

・語のまとまりや言語の響きなどに気を付けて音読すること。

【読むこと (1) ア】

⑦【言語活動成立の要件】

ア 登場人物・時・場所を確認し、登場人物の行動や場面の展開から、想像を広げて読む。
イ 会話文に「」をつけることや、助詞『も』の使い方を理解している。
ウ 音読では、声の大小、速さなどの工夫ができることを理解している。

⑧【単元の流れ】

<p>【第1次】1時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名から内容を予想し、「くじらぐも」の範読を聞く。 ・挿絵を手がかりに大体的内容を捉える。 ・学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。 	<p>【第2次】5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな読み方で音読しながら話の内容を確認し、好きなところを伝え合う。 ・会話文を、「子どもたち」と「くじらぐも」の役に分かれて、動作化しながら読む。 ・「子どもたち」や「くじらぐも」になりきり、想像して会話を付け加え、音読を楽しむ。 	<p>【第3次】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな役を選び、役ごとに音読の練習をする。 ・音読発表会をし、感想を交流する。 	<p>【交流活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付け加えた会話をグループで交流したり、グループごとの音読を聞き合い、よかったところを全体で交流したりする。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

並行読書・・中川李枝子の作品を紹介し、朝活動などで読むことができるようにしておく。

⑨【単位時間の工夫】

<p>【第1次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5枚の挿絵をお話の順番に並べ替え、誰が何をしたかを場面ごとに捉えさせる。 	<p>【第2次】〈本時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展開 繰り返される言葉に注目したり、会話を付け足したりしながら、場面の様子を想像する。 ・まとめ 学習した読みをいかして、グループごとに役に分かれて音読をする。 	<p>【第3次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様子が表れるように読み方を工夫しながら練習し、2年生の前で音読発表会をする。 	<p>【交流活動の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで役に分かれて音読練習をした後、全体の前で発表することで、色々な工夫があることを知ったり、試したりしようとする。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑩【支える学習環境】

・考えの足場となる教室掲示(単元目標と学習計画表の掲示、学習のわかる掲示)
・並行読書用図書の設置 ・大きなくじらぐもの掲示 ・交流するときの話型の掲示

【研究とのかかわり】

(1) 願いを明確にした単元指導計画の工夫

・単元を貫く課題を「子どもたちやくじらぐものようすをおもいうかべてよみ、『くじらぐも』のおんどくをしよう」とし、単元の出口に2年生への「おんどくはっぴょうかい」を位置付けた。場面の様子が表れるように音読できているかを2年生に評価してもらうことで、学習への意欲付けを行う。

(2) 考えを深めるための指導の工夫

・動作化しながら音読することで「子どもたち」と「くじらぐも」の動きをイメージしたり、本文にはない会話を付け加えることで、場面の様子を想像したりできるようにする。
・場面の様子を表した文を考え、その様子を音読につなげようという意識を持つことができるようにする。

(3) 自己の高まりを自覚できるまとめ方の工夫

・まとめでは、仲間の音読を聞き、場面の様子がどこに表れていたかを交流することを通して、自己の音読についてもふりかえり評価する。

◆本時のねらい

くじらぐもにのって空を旅する子どもたちが、どんな会話をしているかを考え交流する活動を通して、くじらぐもにやっとなることができて楽しく空を旅している子どもたちと、子どもたちを乗せてはりきって泳いでいるくじらぐもの様子を想像し、音読することができる。

◆本時の展開（5/8）＜P10～P11＞

	学習活動と児童の姿	指導上の留意点（☆人権教育の視点）
つかむ	1 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 子どもたちがくじらぐもにのって空をたびするようすをそうぞうしながら、おんどくしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板には大きなくじらぐも・子どもたち・雲の下の風景を掲示し、児童が場面の様子をイメージできるようにする。 ・音読の後で、繰り返しの言葉（青い青い・どこまでもどこまでも・～のほうへ）に気付くことができるか確認する。 ・必ず教科書の挿絵から読み取ることとし、発表する場合は挿絵を指し示しながら発言できるようにする。
	2 P10～P11（4場面）を一斉音読する。 3 くじらぐもの上からなにがみえたかを想像する。 <ul style="list-style-type: none"> ・うみのほうへ→ふねが見えます。 ・むらのほうへ→いえやくるまが見えます。 ・まちのほうへ→でんしゃが見えます。 	
考える	4 子どもたちとくじらぐもが、どんなことを話したのかを想像し、付け足す会話を考える。各自、吹き出しシートに書き、グループで交流した後全体で交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども「雲の上はふかふかだね。」「先生、家や車がすごく小さく見えるよ。」「いつまでも空を旅していたいな。」 ・くじらぐも「みんな、しっかりつかまって。」「みんな、空の上は気持ちいいだろう。」「みんなと一緒にだと楽しいなあ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに付け足すかや、誰が誰に話しているかも考えるよう促す。 ・子どもたち・くじらぐもどちらの会話を考えてもいい。たくさん会話を考えてもいいが、発表できるのは1人1つにする。
	5 場面の様子を表す文を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◎場面の最後に、子どもたちとくじらぐもの様子を表す文を付け足そう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなは、とても楽しい気持ちでした。 ・くじらぐもは、まだげんきいっぱいです。→楽しい・元気な様子が伝わるように、音読練習をしよう。 	
深める	6 グループごとに音読練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は役に分かれず、全員が本文全てを音読する。グループの中でペアを作り練習する。仲間の音読を聞き、場面の様子がどこから伝わってきたかに着目して、感想を言い合いながら練習する。ペアを変えて、練習する。 ☆仲間の意見を聞き、よさに気づくことができる。
	7 1ペアを指名して、音読を発表する。場面の様子がどこから伝わってきたかを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「さあ、およぐぞ」というみんなが楽しそうに音読していたのでよかったです。 ・大きな声で音読できていたのでよかったです。→どんな気持ちが伝わってきた？→楽しそうな様子。 	
まとめる	6 吹き出しシートのふりかえりの欄に記入しまとめをする。次時の見通しをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価規準【読む能力】 子どもたちがくじらぐもにのって空を旅する様子を想像し、音読している。 <発言・音読> </div>